

基調講演

三上 建治 氏

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 参事官／
準天頂衛星システム戦略室室長 ※経済産業省からの出向

主な経歴

北海道室蘭市生まれ。名古屋大学／大学院で宇宙工学を専攻後、経済産業省に入省。航空宇宙や先端技術の研究開発、中小企業のDX等を推進（例えば「空飛ぶクルマ」への国の支援体制を初めて構築）。また2002年防衛省、2004年内閣府科学技術・イノベーション会議、2014年JETROブリュッセル事務所次長、2019年長崎県企画部／産業労働部部長級など、省外・海外・地方ポストも経験。2023年7月から現職。

講演概要

世界的に宇宙空間の利活用が進み始めています。人類として半世紀ぶりに月面有人探査を目指すアルテミス計画では、日本の機器や宇宙飛行士の活躍も期待されています。本講演では、我が国の宇宙産業の現状と課題、そして将来展望について解説いたします。現在も進む多様なロケット開発、衛星による利活用、そして、宇宙空間と安全保障との関連性についても触れながら、日本の宇宙産業が今後どのような戦略と支援の下で発展していくのか、皆様と共に考えたいと思います。



特別講演

土井 隆雄 氏

京都大学大学院総合生存学館（思修館）
特定教授（宇宙飛行士）

主な経歴

1983年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、2004年ライス大学大学院博士課程修了（工学・理学博士）、1997年スペースシャトル「コロンビア号」に搭乗し、日本人として初めての船外活動を行う。2008年スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗。ロボットアームを操作し、日本初の有人宇宙施設「きぼう」日本実験棟船内保管室を国際宇宙ステーションに取り付ける。2009年～2016年国連宇宙部で国連宇宙応用専門官として宇宙科学技術の啓蒙普及活動に取り組む。2016年4月 京都大学宇宙総合学館研究ユニット特定教授に就任。2020年4月 京都大学大学院総合生存学館（思修館）特任教授、同年7月より特定教授。※2002年と2007年には超新星を発見

講演概要

京都大学では宇宙での木材利用をめざして、宇宙木材プロジェクトを実施している。宇宙での木材利用を実現するために2020年より開発を始めた世界初の木造人工衛星LignoSatが2024年に完成した。LignoSatは宇宙空間の木材に与える物理化学的影響を調べる予定である。



オープンイノベーションピッチ

緒方 博之 氏

京都大学 化学研究所 教授

主な経歴

1992年京都大学理学部を卒業後、同大学理学研究科に進学、1998年に博士（理学）を取得。1996年に京都大学に助手として着任、1999年に渡仏しCNRSで研究員を務める。2012年に帰国し、東京工業大学で特任准教授を務め、2014年に京都大学に教授として着任し現在に至る。巨大ウイルスの生態・進化、物質循環との関係を主要な研究テーマとして世界的に活躍する。

講演概要

広大な海洋には無数のプランクトンが生息し、地球環境の維持や海洋資源の安定供給に貢献している。また、現在の技術で特定の海水に生息するプランクトンのゲノムを網羅的に解読することが可能になりつつある。私たちは、こうした海洋ゲノムデータと衛星データを機械学習で結び付け、海洋プランクトンの群集タイプを予測することを試みた。その結果、67%の正解率でプランクトン群集タイプを衛星データから予測することに成功した。



オープンイノベーションピッチ

重 尚一 氏

京都大学 大学院理学研究科 地球惑星科学専攻 准教授

主な経歴

2001年 京都大学大学院理学研究科にて博士（理学）の学位取得
2001年 宇宙開発事業団（現・宇宙航空研究開発機構）
地球観測研究センター招聘研究員
2004年 大阪府立大学（現・大阪公立大学）大学院工学研究科助手
2009年 京都大学大学院理学研究科准教授
2018年 日本気象学会賞受賞
「衛星観測に基づく潜熱及び降水量推定手法の開発とアジアモンスーン域での地形性降雨特性の解明」
海外研究歴：NASAゴダード宇宙飛行センター（2000年10月-2001年2月）、コロラド州立大学（2013年8月-2014年1月）

講演概要

地球規模で降水を把握するには、衛星観測が唯一の手段となります。日本は世界に先駆けて衛星搭載降水レーダを実現させるなど、衛星降水観測の分野で重要な役割を果たしてきました。本講演では、衛星搭載降水レーダによって得られてきた科学的知見、およびそれに基づいて開発した衛星全球降水マップ（GSMaP）について解説します。また、衛星降水観測の将来計画についても紹介します。



パネルディスカッション

益田 周 氏

サグリ株式会社 取締役（農地活用事業 担当）

主な経歴

伊藤忠商事に入社後、10年以上に渡って不動産や産業・建設機械、ヘルスケアのビジネスにおける管理業務に従事。イギリス駐在、様々なビジネスの経理や財務、経営企画、M&Aを経験。2020年からサグリにジョインし、衛星データによる耕作放棄地検出アプリ「アクタバ」、作物の推定アプリ「データバ」の展開を行う。



パネルディスカッション

笠原 秀一 氏

株式会社オーシャンアイズ 取締役

主な経歴

ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC 株式会社（現IDC フロンティア株式会社）、株式会社ウィコム（現ソフトバンクモバイル株式会社）等で経営企画、新規事業開発に従事。企業在籍中の2006年に、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科（MBA）修了。2011年より京都大学情報学研究科博士課程後期編入、2014年指導認定退学。2016年博士（情報学）。2014年より美濃研究室で観光の情報化に関する研究等に従事。2016年研究員、2017年特定講師。2019年 JST-CRESTの研究成果の社会実装のために株式会社オーシャンアイズを設立、取締役に就任。2022年、大阪成蹊大学データサイエンス学部設置準備室准教授に着任。2023年、大阪成蹊大学データサイエンス学部教授、衛星データからの海洋情報の解析、観光旅行者の行動モデル化、センサデータからの行動推定などを主な研究分野とする。



パネルディスカッション

源六 孝典 氏

株式会社バイオーム 取締役 CTO

主な経歴

京都大学大学院農学研究科修士卒。
2017年、共同創業者として株式会社バイオームを起業。
取締役CTOとして、いきものコレクションアプリ「Biome」をはじめとする自社開発業務をおこなうシステム開発部門、生物多様性ビッグデータ解析およびそれに基づく自然資本評価をおこなう研究開発部門の統括を担う。



パネルディスカッション

山崎 秀人 氏

株式会社Tellus 代表取締役社長

主な経歴

2001年、宇宙開発事業団（現JAXA）入社。国際調整業務、ALOS（だいち）の防災利用プロジェクト、小惑星探査機はやぶさプロジェクトの帰還業務などに従事。2019年5月よりさくらインターネットにて、衛星データプラットフォーム「Tellus」のプロジェクト全体統括を担い、2022年6月より、Tellus社代表取締役に就任。



会場

京都リサーチパーク
4号館 B1 バズホール

京都リサーチパーク
〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町90～94
◎京都市営バス「京都リサーチパーク前」下車徒歩5分
◎JR嵯峨野線「JR丹波口駅」下車徒歩5分

